

## (2)説明会意見(アンケート「計画に盛り込みたいこと」に記載いただいた内容)

整理番号	枝番	区分	種別	意見内容(要旨)	分野	所管1	対応区分	検討結果(対応策)
2001	01	個人	書面	「個に応じた指導」を重点目標においているなら、ぜひ、肢体不自由学級でもその子に合った学習をして下さい。準ずる教育を受ける子が一人しかいなかったら、現実的に先生を一人つけることは難しいと説明を受けたことがあります。個を大事にして下さい。	1	教育指導課	2	現在の肢体不自由学級は、特別な教育課程で届けておりますが、通常学級に準じる教育課程による指導が必要な児童・生徒が在籍することになった場合は、保護者と特別支援学級・通常の学級が相談のうえ、肢体不自由学級で個別に指導を行うほか、交流及び共同学習の時間を増やすことが考えられます。 肢体不自由の特別支援学級は、東京都の規定により、障害の程度による複数の学級を設置することが認められていないため、準ずる教育課程の児童・生徒のために、学級を新設して教員を配置することはできません。 また、障害が肢体不自由のみで通常の教育課程での指導が可能な場合は、何らかの支援により、通常の学級に在籍することも考えられます。
2002	01	個人	書面	発達的に支援をつなげていく視点はよいと思います。個別ケースのみでなく、小学校の教員が「中学生になるところなのか」ということを体験的に知っておくことが必要だと思います。グレーゾーンで特性を見逃されていた子どもが中学校では二次障害で不登校になっているケースが多いです。	6	教育指導課	2	ご指摘のとおり、小学校の教職員が中学校に進学したあとのイメージをもつことは重要と考えます。推進施策6に挙げていますが、個別の教育支援計画の作成支援の中で、小学校から中学校へのつながりをいかに持つかを検討していきたいと考えます。
2003	01	個人	書面	「重点目標2」は障害のある子ども別々にいきいき学ぶ環境を整備しますと感じます。「別々に」ではなく「一緒に」ではないと共生社会を目指そうと言う意気込みが全く感じられません。	5	教育指導課	2	重点目標2では、多様な学びの場を整備し、それぞれの場できいきと学ぶ環境を整備していくことを記載しています。また、多様な学びの場の整備と共に、交流及び共同学習や地域交流をさらに進め、可能な限り共に学ぶことが共生社会の実現に寄与するという方向性を明らかにしています。
2004	01	個人	書面	通常教室ではどう見ても在籍困難と思われる児童がいる場合、授業の遅れなど、他の子にかなり負担になることがあります。保護者の方は普通校に通わせたいのであれば、保護者会等は必ず出席し、皆の前で自分の子についての話をするなど、協力を求める姿勢を見せることが望ましいと思います。	1	教育指導課	3	通常の学級に、支援が必要な児童・生徒が在籍していることや、支援がなかなか行き渡っていない部分があることは認識しています。特別支援教室事業を充実し、柔軟な教育相談体制を整えることで、通常の学級の支援をしていきたいと考えています。 また、すべての保護者に対する特別支援教育の理解啓発についても重要な課題です。保護者会等、様々な機会を捉えて啓発に努めていきます。
2005	01	個人	書面	自分自身もっと勉強し、しっかり理解を深めていこうと思っています。	8	教育指導課	8	特別支援教育の啓発のため、区としても、特別支援教育にかかる講演会や説明会を、これからも開催していきたいと考えます。
2006	01	個人	書面	「特別支援」と題目に入れるとその点に興味のある人しか関わらないと思いますので各学校の保護者会や説明会等でお話してもらえるとよいと思います。	1	教育指導課	2	推進施策2の(7)の取組みとしてあげていますが、特別支援教育だけでなく人権教育等の観点も踏まえながら、通常の学級の保護者に向けた説明や勉強会など、少しの時間であっても行うことができるようにしていきたいと考えています。

整理番号	枝番	区分	種別	意見内容(要旨)	分野	所管1	対応区分	検討結果(対応策)
2007	01	個人	書面	関係機関が連携を取り「個」の自立に向けての支援をしっかりと行っていただきたい。	6	教育指導課	2	推進施策7に挙げていますが、ご意見のとおり、特別な支援が必要な児童・生徒の自立に向けて、関係機関が連携してつながりを持った支援を行っていきたいと考えます。
2008	01	個人	書面	計画で終わりではなく、成果や途中経過の検証をしっかりと行う仕組みづくりもしていただきたいです。	8	教育指導課	2	毎年度末には、計画の事項の進捗状況を確認していきます。
2009	01	個人	書面	理想的な計画だと思えます。ぜひ実現してほしいと思えます。支援を受けることを親が前向きにとらえられるような環境を整えてほしいと思えます。就学前の児童のケアもぜひ取り組んでほしいと思えます。	8	教育指導課	2	就学前の支援については推進施策6に挙げていますが、就学前ガイダンスの実施や、就学前施設の幼児のケアについての相談体制を検討していきます。
2010	01	個人	書面	インクルーシブもただ障害を持つ側の声が大きくなりすぎないように健常側の声にも気を付けてほしいです。障害者側に身を置いているのですが、差別ではなく区別は必要だと考えています。何でも同じように体験させたいとは思わないし、無理です。迷惑(健常側にも権利があるので…)もできるだけ掛けたくないです。	1	教育指導課	2	インクルーシブ教育構築にあたっては、連続性のある多様な学びの場の充実とともに、障害のある子と障害のない子が共に学ぶ場を追求していくことが必要です。障害がある子と障害のない子が共に学ぶことにより、障害のある子どもは社会性を身につけ、障害のない子どもは人間同士の相互理解や思いやりの気持ちを育てることができると考えます。通常の学級の児童・生徒や保護者の理解啓発を図りながら、交流及び共同学習の機会を増やしていきたいと考えます。
2011	01	個人	書面	3回とも講演会に出席しました。これからも増やして下さい。	8	教育指導課	2	特別支援教育のさらなる啓発のため、区としても、特別支援教育にかかる講演会や説明会を、これからも開催していきたいと考えます。
2012	01	個人	書面	縦のつながりだけでなく、横のつながりも大事にしていきたい。	6	教育指導課	2	推進施策7に挙げているように、関係機関との連携として横のつながりをもった発達支援体制の整備を検討していきます。
2013	01	個人	書面	これからも充実した特別支援教育推進計画をつくってほしいと思えます。	8	教育指導課	2	特別支援教育推進計画の策定だけに終わらず、推進施策を少しずつでも確実に実施していきたいと考えます。
2014	01	個人	書面	重点目標3「就学前から卒業後までを見通した関係部局・関係機関との連携を強化します」に期待しています。	6	教育指導課	2	特別支援教育推進計画の策定だけに終わらず、推進施策を少しずつでも確実に実施していきたいと考えます。
2015	01	個人	書面	保護者の希望も大切だと思うが、いろいろな生徒が一つの教室で学ぶ中、教室にいられない、他生徒への暴力・暴言の出してしまう子どもに対して、どのように支援していくかは、より手厚い支援が求められるところだと思う。本当にその子のためになる、将来を見据えた支援計画の作成の充実を望みたい。	1	教育指導課	2	通常の学級に、支援が必要な児童生徒が在籍していることや、支援がなかなか行き渡っていない部分があることは認識しています。特別支援教室事業を充実し、柔軟な教育相談体制を整えることで、通常の学級の支援をしていきたいと考えています。 また、個別指導計画の様式の検討をはじめとして、将来を見据えた実効性のある個別指導計画の作成に努めていきます。

整理番号	枝番	区分	種別	意見内容(要旨)	分野	所管1	対応区分	検討結果(対応策)
2016	01	個人	書面	重点目標1に「特別支援教育の視点を持つ教員の育成」が挙げられているが、40人編成の学級に教員1人ではいくら特別支援学級の視点があっても、個人個人のニーズに合わせた教育の提供は不可能ではないか。教員の負担を増やすばかりでなく、人員配置も含め制度的な改革が必要だと思う。また、通常の学級では、特別支援の前に指導力の向上、魅力的な授業の展開が求められていると思う。	1	教育指導課	2	推進施策2の(4)に挙げていますが、ご指摘のとおり、まずは通常の学級の教員の指導力の向上が求められています。特別支援教育の視点を持ちながら、一人ひとりの教育ニーズに合った指導を展開できるよう、努めていきます。
2017	01	個人	書面	中学校でのケアをもっと配慮してほしいです。よろしく願います。	1	教育指導課	2	ご指摘のとおり、中学校に就学後の生徒のケアが重要です。推進施策2に挙げましたが、中学校における特別支援教室の設置について、検討する必要があります。